

解 禁	新聞・テレビ・ラジオ
	平成29年10月23日

## 入札監視委員会の審議概要について

### 記者発表資料

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成29年度第2回)が、平成29年9月20日(水)に沖縄総合事務局において開催されました。  
審議内容は別紙のとおりです。

平成29年10月23日

沖縄総合事務局

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

【問い合わせ先】

沖縄総合事務局開発建設部管理課 契約管理官 金田 好章

契約管理係長 下地 公介

代表 098-866-0031 (内線 2356・2541)

直通 098-866-1981

沖縄総合事務局開発建設部 入札監視委員会(平成29年度第2回) 審議概要

開催日及び場所	平成29年9月20日(水) 沖縄総合事務局 4階 事業審査室		
委員	委員長 井上 章二 (琉球大学農学部教授) 委員 小倉 暢之 (琉球大学工学部教授) 委員 仲地 健 (沖縄国際大学産業情報学部教授) 委員 村上 尚子 (弁護士) (委員は50音順:敬称略)		
審議対象期間	平成29年4月1日～平成29年6月30日		
抽出案件	総件数 5 件	(備考)	
工事	一般競争 (政府調達)	1 件	○ 入札・契約の状況等、工種別発注状況等並びに指名停止・再度入札の発生状況について報告を行った。
	一般競争	1 件	
	公募型指名競争	0 件	
	工事希望型競争	0 件	
	通常指名競争	0 件	
	随意契約	1 件	
	建設コンサルタント業務等	1 件	
役務の提供等及び物品の製造等	1 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	な し		

(別紙)

意見・質問	回答
<b>定例報告</b>	
1 入札・契約に関する状況等	
2 対象期間における発注案件について	
3 指名停止措置の運用状況 ○ 指名停止の始期や措置内容については、どのように決まるのか。 ○ 入札に応募した後に指名停止になった場合はどうなるのか。	・ 運用基準があり、それに従って判断している。指名停止期間等の措置内容と始期は事実関係等を調査し終えて確定する。 ・ 入札に参加していても、開札の時までに指名停止になると参加資格を失って応札はできなくなる。
4 再度入札における工事別一位不動状況	
5 一者入札推移	
<b>抽出事案</b>	
1 工事 ◆ 那覇港(浦添ふ頭地区)臨港道路(浦添線)橋梁付属物外1件工事 ○ 参加者の入札価格が非常に近く、技術提案内容の評価で受注が決まる感じだが、これは発注者からの情報発信等がうまく機能しているということか。 ◆ 平良港(漲水地区)岸壁(-7.5m)(改良)(耐震)舗装工事 ○ 一者入札の場合、総合評価型の発注方法に意味はあるのか。 ◆ 石垣合同外1件(29)機械設備その他改修工事 ○ 不落随契で契約した場合、品質の確保はどうやって確認しているか。	・ 入札結果の公表や、参加者から提出された技術提案の審査段階における質疑対応等により浸透していると思っている。  ・ 入札者の能力や提案内容は審査している。なお、入札者は落札後でなければ一者入札とは分からないため、提出する技術提案や入札価格は一定の水準及び競争性が保たれている。  ・ 工事価格は官側の積算基準に基づき適切に算定している。また、施工体制等も確認し、品質確保に問題ないと判断した。
2 建設コンサルタント業務等 ◆ 平成29年度沖縄県ITS社会実験に関する調査業務 ○ 評価項目の配点は事前に参加者に知らされるのか、また、その配点比率はどのように決まるのか。	・ 配点内容は事前に知らされており、比率はガイドラインに従って決めている。
3 役務の提供等及び物品の製造等 ◆ 行政情報システム運用管理業務 ○ 参加表明を行った者が一者だが、その理由をどう考えているか。	・ 本案件に対応できる情報技術者は大都市圏に集中しており、地方には少ないという地域的な要因があるためと考えている。